

## 私の風俗通い

かねたたき

2年前、平成13年の夏頃から、私はあるフェチ系の風俗店に通うようになった。通うと言っても、平均して月1回ぐらいのペースだが。

この店では画像を見て女の子を選ぶ。最初に行ったとき、私はE嬢を選んだ。

E「どういうプレイをしましょう？」

か「軽々く……急所蹴りをして下さい」

実際に蹴られたことはないのですが、これが金蹴り初体験ということになる。インターバルを入れながら蹴ってもらった。インターバルの間には、「急所と知ったのはいつ？」とか、「プレイ以外で蹴ったことは？」という質問をしたり、私の好きなシチュエーションを言ったりした。最後は私の好きなシチュエーションにあわせてのプレイで、E嬢も非常にノリノリだった。

これに味を占めて、数日後にまたこの店に行った。今度はYちゃんを指名。

Y「どういったプレイをしますか？」

か「軽々く急所蹴りをして下さい」

Y「急所ってキンタマ？棒じゃなくてタマタマ？」

お、これは期待が持てる、と思ったが、全くの期待はずれ。Yちゃんはそういった経験があま

りないらしく、また、攻めるようなセリフもほとんど出てこなかった。

これじゃいかん、私の理想とするプレイをしてもうにはどうすればいいか。その結果書いたのが、「代償」である。私の興奮するシチュエーションで、なおかつ女性の口から言ってもらいたいセリフを並べる。朗読してもらおうことで興奮するし、プレイもそれにあわせてやってもらえる……かもしれない。

その後、Kサマ、Aさん、Mちゃん、K嬢、Sさん……と指名する子をかえていったが、結局またE嬢に落ち着いている。私にとってベストの相手、と言うかノリの良さが抜群なのだ。

誤解を招くといけないで書くが、他の女の子たちの質が低いわけではない。ただ私が要求している物を持ち合わせていないだけなのだ。小柄なロリータ系のかわい子ちゃん好きにはYちゃんがびったりだろうし、大柄な巨乳好きにはKサマが、ほんわかした子がよければMちゃんが……。ただ、私が望むプレイにはE嬢がベストというだけである。(余談になるが、Sさんは実際に痴漢に急所蹴りをしたことがあるそうだ)

その後もE嬢にはいろいろ朗読してもらった。「女子中学にて」、「もめ事(仮題)」、「駆け込み乗車はやめましょう」、この3つは、今日はこういうシチュエーションでやってほしい、という思いで書いた物である。それ以外にも、「寛子の軌跡」1話の前半部分、「月曜の朝」のB.パタ

ーンも読んでもらった。「女子中学にて」を讀んでもらったときには先生になりきって、「寛子の軌跡」を讀んでもらったときにはお母さんになりきってプレイしてくれた。今では私の嗜好をよく理解し、安心してプレイできる。とはいえ、タマを握られて、「2個あるんだから1個ぐらいいいでしよう？」と微笑みながらいわれると、プレイの中とわかっていても怖くなってしまうが。

みなさんもこんな感じの風俗遊びはいかがだろうか？ 自分で言うのもなんだが、「代償」はそう言う使い方にはベストだと思っている(少なくとも私には)。ただ、人によって興奮するシチュエーションは違うから、自分で書くかもししくはアレンジするのがいいかもしれない。え？ わざわざ風俗に行かなくても、そういうセリフを言ってくれる彼女がいる？ ……うらやましい。